

山岳遭難発生状況 (令和5年2月末現在)

9件10人(+3件+4人)・死傷者10人 (死亡0人、負傷者10人)

春の山岳事故防止

厳しい寒さも和らぎはじめ、登山を計画する方も多くなると思います。

毎年、春先からゴールデンウィークにかけて山岳遭難が数多く発生しています。
山岳遭難を防止するために次の点に注意しましょう。

○ 登山道の残雪、凍結に注意

街中は暖かい気候でも山の上や日当たりの悪い場所は残雪や凍結がある可能性がありますので、アイゼンを携行し、わずかな凍結場所でもアイゼンの装着を行いましょう。

○ 早い時間に出発し、早い時間に下山

余裕ある行動を心掛け、早い時間に目的地に到着して、早めに下山できるように「ゆとり」を持った行動を心掛けましょう。

○ 急な天候の変化に注意

麓は雨でも山頂付近では降雪の可能性があります。事前に天候の情報を収集し、悪天候が予想される場合は登山の中止や延期も検討しましょう。

○ 万全な装備と寒さ対策

日帰り登山の場合でも万が一を考え、ヘッドライトや予備の食糧・バッテリー、防寒衣を準備するなど非常時に備えましょう。

○ 登山届の提出

安全登山は登山届の計画・作成が第一歩！県警ホームページや登山アプリ

「Compass」や「YAMAP」から提出できます。



【2月17日 雲取山】

登山の豆知識～レイヤリング編～

レイヤリングとは、「服を重ね着する」ことで、発汗による汗冷えを軽減したり、保温機能を高めるなど、登山中の様々な環境に対応するための手法です。

登山中は、常に天気や気温変化などリスクにさらされ、必要以上の発汗は、夏場は熱中症、冬場は低体温症に繋がる恐れがあり、レイヤリングを取り入れることで、自身の体温や発汗をコントロールすることが出来ます。

無意識に「暑かったら脱ぐ」、「寒かったら着る」ということは行っていると思いますが、リスクマネジメントを意識して「着る・脱ぐ」を実践してみてもいいのではないでしょうか。

【👕レイヤリング👖】

- ① アンダーレイヤー
肌着に近い材質で吸湿拡散性や速乾性に優れたもの。(身体の熱を逃がす!)
- ② ベースレイヤー
行動用シャツで季節により、吸湿拡散性や速乾性、防寒性があるもの。(身体の熱を逃がし、季節で服の厚みを調整!)
- ③ ミドルレイヤー
フリースや軽ダウンなど保温や防寒性があるもの。(身体の熱を逃さない!)
- ④ アウターレイヤー
風雨から身を守り、保温や撥水性や透湿性のあるもの。(外気から身体の熱を奪われない!)



※ レイヤーは「層」を意味します。

～山岳遭難情報はコチラ!～

情報発信

Twitter (ツイッター) で山岳遭難情報や登山する注意事項などを随時発信していますので、参考にしてください。

アカウント：埼玉県警察本部地域部地域総務課
@spp_chisouka



～登山届はコチラ!～

山と自然ネットワークコンパス
Compass
<https://www.mt-compass.com/howto.php>
全国山域の登山届がひとつの窓口で提出できます。

登山計画の提出が
手軽で簡単
利用者数No.1登山地図GPSアプリ **YAMAP**
2021年8月17日現在 (App Store)

登山届 (電子申請)

登山届の提出は安全登山の第一歩です。
自分の技量や装備に見合った登山計画を立て、
必ず、家族や身近な人に行き先等を伝えておきましょう。

★採用情報★

- 受付期間
3月1日(水)午前9時から
4月7日(金)午後5時までの間
- お問い合わせ
埼玉県警察本部
地域部地域総務課
048-832-0110